

9月定例会における議案等の審査結果

議案等番号	件名	結果
議案第83号	一般会計補正予算(第4回)の専決処分について	承認
議案第84号	一般会計補正予算(第5回)について	原案可決
議案第85号	国民健康保険特別会計補正予算(第2回)について	"
議案第86号	老人保健特別会計補正予算(第1回)について	"
議案第87号	介護保険特別会計補正予算(第1回)について	"
議案第88号	簡易水道事業特別会計補正予算(第1回)について	"
議案第89号	公共下水道事業特別会計補正予算(第2回)について	"
議案第90号	ひうち地域振興整備事業特別会計補正予算(第1回)について	"
議案第91号	小松地域交流事業特別会計補正予算(第2回)について	"
議案第92号	平成20年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
議案第93号	平成20年度水道事業会計決算の認定について	"
議案第94号	平成20年度病院事業会計決算の認定について	"
議案第95号	財産の取得について	原案可決
議案第96号	国民健康保険条例の一部を改正する条例について	"
議案第97号	病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	"
議案第98号	一般会計補正予算(第6回)について	"
議案第99号	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
報告第6号	平成20年度財政健全化判断比率及び公営企業における資金不足比率の報告について	報告聴取
報告第7号	平成20年度公営企業における資金不足比率の報告について	"
報告第8号	平成20年度公営企業における資金不足比率の報告について	"

どう取り組む？
女性特有のがん対策

(公明党西条市議団)

問

がん対策は、早期発見が重要で、受診率を上げることが急務である。我が国でも年間約1万1千人を超える女性が乳がんにより亡くなり、子宮頸がんも年々増加し、低年齢化が進んでいる。市は、既にこれらの無料健診に先進的に取り組んでいるが、検診受診目標を5年以内で50パーセント以上とする国のがん対策推進基本計画を

答

どのように考えているのか。また、HPVワクチンの現状と公費助成について問う。

平成20年度の20歳以上の子宮頸がん検診率は22・2パーセント、40歳以上の乳がん検診受診率が23・8パーセントである。国が平成23年度に受診率を50パーセントにしようという目標に向けて、受診しやすい検診体制の整備、休日及び午後の総合健診を実施し、現在行っている検診料無料化を継続する。

また、啓発活動の強化として、



定期的な検診受診を

健康づくり推進員、J A女性部による受診勧奨の継続、愛媛県がん対策推進委員設置事業の活用、さらには検診事業や学習会における健康教育を実施する。

問

今回の条例改正案は、自

中止すべきではないか？

市立周桑病院の公設民営化

西条市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

子宮頸がん予防ワクチンは、本年10月にも承認の見通しと聞いており、公費助成については、正式承認の後、国の動向を見ながら考えていきたい。

公政権下での総務省が2007年12月に公表し、各自治体に通知した「公立病院改革ガイドライン」すなわち、「病院経営の効率化・黒字化及び運営形態の見直し」に基づくものである。

先の総選挙で、民主党を中心とする政権が誕生し、この民主党の医療に関する選挙公約では、医師の1・5倍の増員、医療従事者の増員に努める病院には、診療報酬の引き上げなどが明記され自公政権下での総務省が示した「公立病院改革ガイドライン」そのものが大きく変貌しようとしている。

これら国政の方向転換を直視し、直ちに民営化案は、中止すべきであると思うが、どのように考えているか。

答

市立周桑病院の経営改革への取り組みについては、国の「公立病院改革ガイドライン」よりも早くから、経営形態の見直しを含む抜本的な改革について、独自に取り組んできたものである。

政権交代による医療政策がいかに転換されるにかかわらず、周桑病院を存続させるために、この改革を進めていきたい。